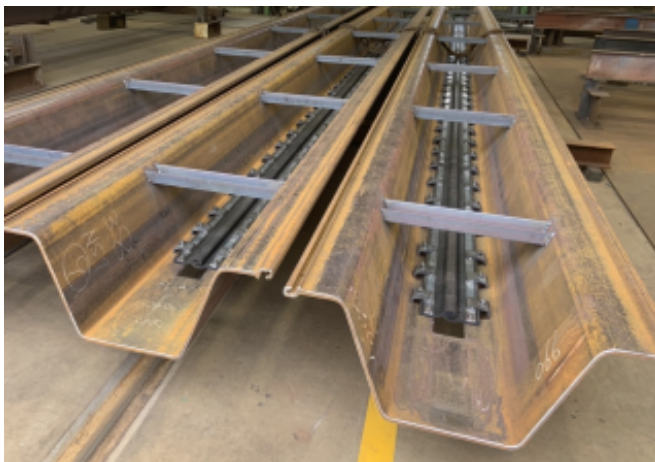


# フレックスパイル

FP-ZH 型  
FP-H 型

鋼矢板用可とう継手

## ハット形鋼矢板対応品



ハット形鋼矢板は薄肉大断面形状でありながら、施工性に優れ、信頼性が高く経済的な壁体を構築できる鋼矢板です。

フレックスパイルFP-ZH型はハット形鋼矢板に対応できる可とう矢板で、国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)に新技术として登録された(掲載期間終了)FP-Z型の技術を応用し開発された製品です。

堤防の不等沈下等の変位吸収と負の周面摩擦力の影響を遮断して河川の安全を守るだけでなく、工事のトータルコスト縮減に貢献できる画期的な可とう矢板です。

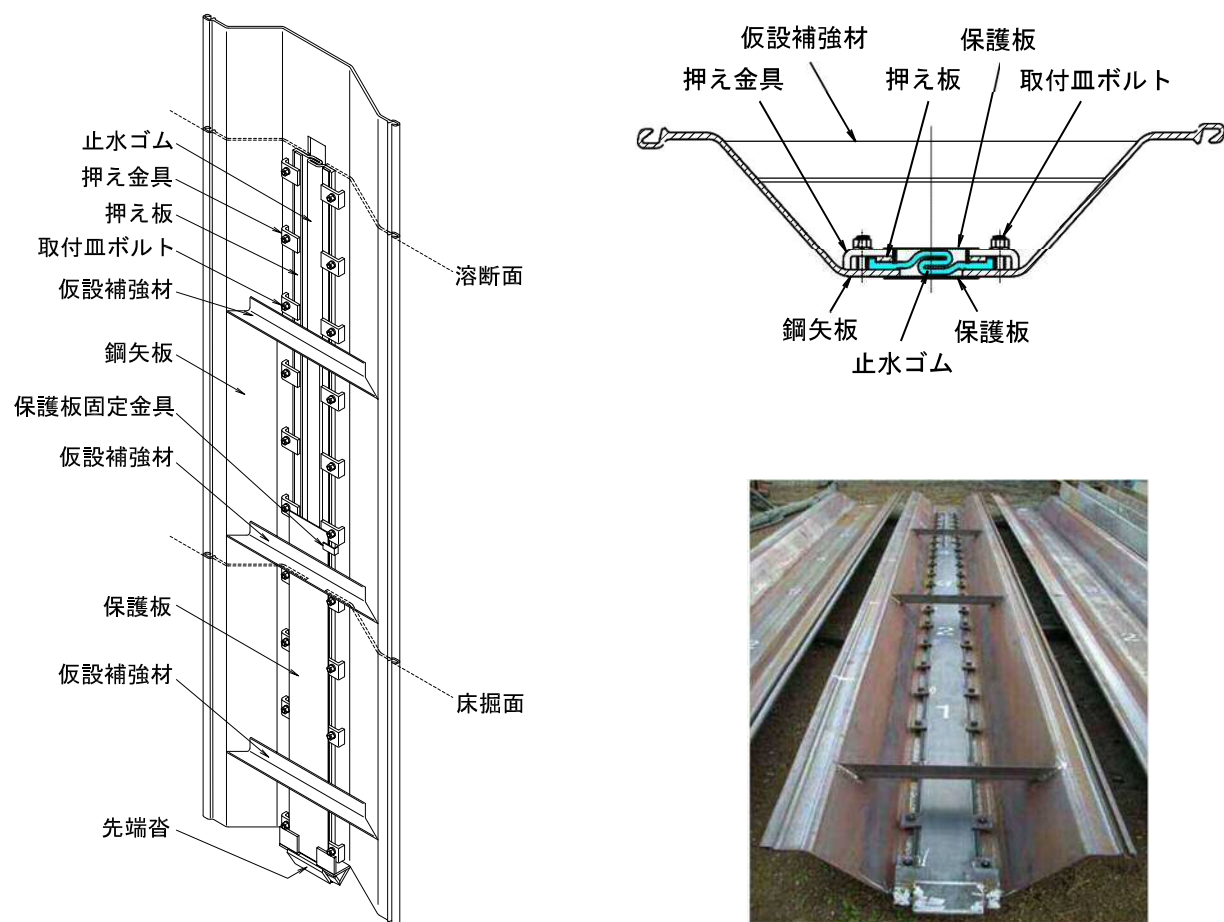


西武ポリマ化成株式会社

## 特 長

1. 打ち込み断面積が小さく、固い地盤でも打ち込み易い。
2. 鋼矢板用の定規が使用できるため、作業の正確性、迅速性が向上。
3. 先端沓、保護板の撤去作業と撤去後の砂詰め作業がなく、工事時間が短縮。
4. 変位(沈下、伸び、縮み)に対する伸縮部材の反力(変位抵抗)が小さい。

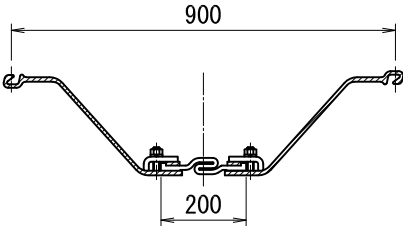
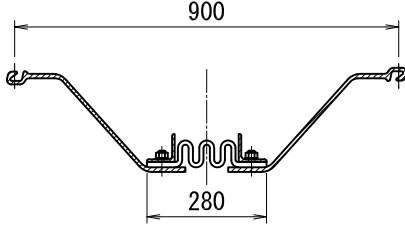
## 構 造



## ゴム物性規格

試験項目	引張試験		硬さ タイプ A	老化試験(70℃×96 時間)		
	引張強さ MPa	伸び %		引張強さ 変化率%	伸び変化率 %	硬さの変化
伸縮部材	14.7 以上	350 以上	65±5	-15 以内	±40 以内	0 ~ ±15
試験方法	JIS K 6251		JIS K 6253-3	JIS K 6257		

# 品 種

品 種		FP100ZH 型	FP200H(300H)型
断面構造			
性 能	沈下量	100mm	200mm(300mm)
	伸び量	100mm	200mm(200mm)
	縮み量	60mm	80mm(80mm)

( )内はFP300H

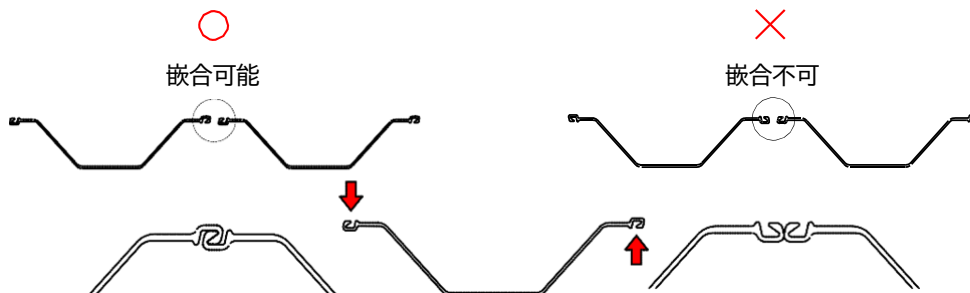
## 設計仕様

フレックスパイル FP-ZH 型をご検討に際しては下記項目をご指示願います。

1	ユーザー名		
2	工 事 名		
3	用 途	1) 樋門、樋管	2) 水門 3) その他( )
4	土 質	1) 土質( )	2) N 値( )
5	補助工法の有無	1) 無し	2) 有り(工法名： )
6	ハット形の種類	1) 10H	2) 25H 3) 45H 4) 50H
7	矢板長×打込長	一般矢板の長さ m	打込み(根入れの長さ) m
8	矢板の向き	※設計時の留意点参照	

## 設計時の注意点

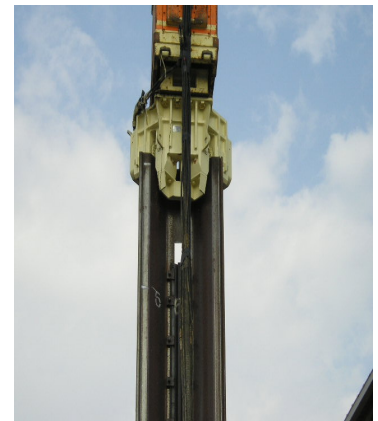
1. ハット形鋼矢板は、両側継手部の形状が左右で異なるため、U型鋼矢板のように天地を逆にして使用することができません。建て込み時に鋼矢板の設置向きを誤ることがないように、ご注意ください。



2. 護岸の用途には別途品種による対応になりますので、当社までお問い合わせください。
3. フレックスパイルFP-ZH型はハット形鋼矢板専用チャック以外では打設できません。

## 施工方法

樋門本体部が掘削され、遮水工鋼矢板の樋門底版部から水平方向に延長される樋門本体用鋼矢板が打ち込まれた時点で、フレックスパイルFP-ZH型を打設します。本体上部を挟み、パイプロハンマー(ハット形鋼矢板専用チャック必要)で打ち込みます。



(1) 一般矢板と同様に定規が使用できますので、定規に添わせて建て込んでください。引き起こし時に先端沓を引きずらないように上部をクレーン操作で移動しながら吊り上げてください。

(注)地質、N値により補助工法(ウォータージェット併用)が必要になります。

砂地でN値20以上、粘土質でN値3以上が目安です。

(2) 一番下部にある仮設補助材を切断、除去します。

(3) パイプロハンマーで上部を掴み、所定の深さまで打ち込みます。

(注)固い地盤に打ち込む場合に、鋼矢板のセクションが焼き付く恐れがありますのでセクション部の変色に十分注意し打設してください。

(4) フレックスパイルFP-ZH型打ち込み後、継手の初期寸法を確保するために水平方向の鋼矢板を2枚以上打ち込みます。

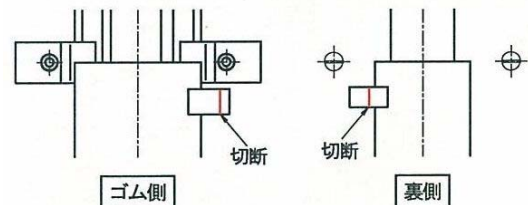
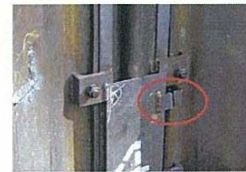
(5) 保護板上部の保護板固定金具を切断します。(右図)

(6) 床堀面より上にある仮設補強材をすべて切断、除去します。

(注)(5)と(6)の作業は同時に行ってください。

(7) 一般鋼矢板天端まで埋め戻した時点で、つかみ代のチャック部を切断除去してください。

(注)埋め戻し作業の際に本体に異常変形を加えたり止水ゴムに傷を付けないようにしてください。



先端沓と保護板は本体部に仮溶接されており、将来の地盤の変位で切断される強度で計算しておりますので、施工時に離脱させる必要がありません。

代理店



JQA-QM4493



西武ポリマ化成株式会社

本社	〒103-0027	東京都中央区日本橋 3-8-2	電話(03)3527-9814	FAX(03)3527-9828
大阪支店	〒542-0081	大阪市中央区南船場 4-6-10	電話(06)6252-8381	FAX(06)6252-0891
名古屋支店	〒483-8145	愛知県江南市小郷町西ノ山 55	電話(0587)54-2136	FAX(0587)54-2175
九州営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 1-14-34	電話(092)441-8595	FAX(092)481-0774
北海道営業所	〒060-0062	札幌市中央区南二条西 6-12-1	電話(011)219-3020	FAX(011)219-3022
名古屋工場	〒483-8145	愛知県江南市小郷町西ノ山 55	電話(0587)54-2111	FAX(0587)54-2124